

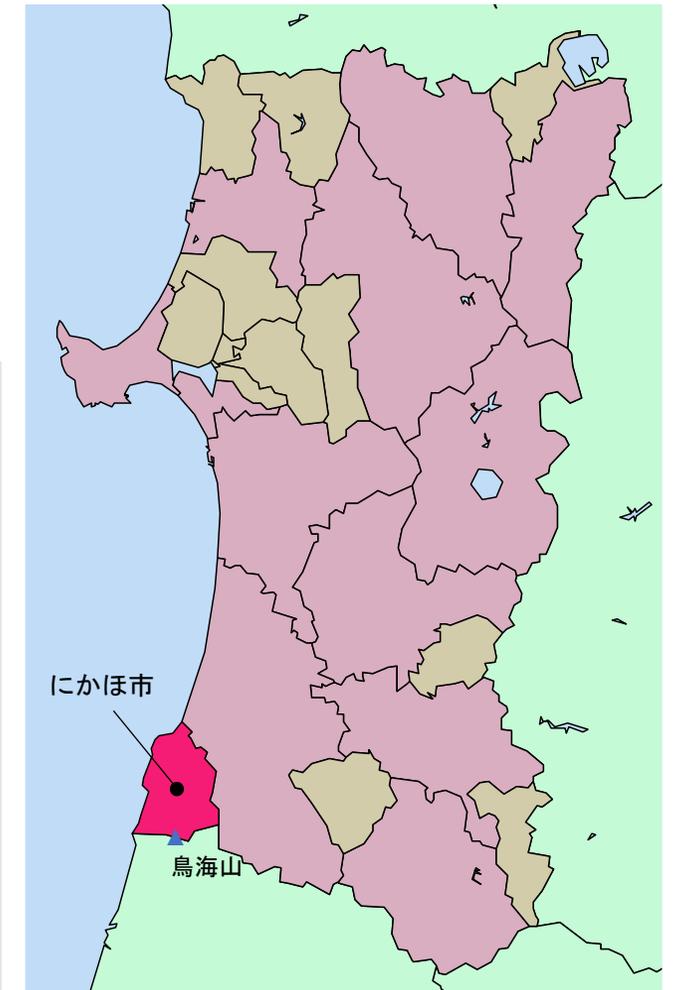
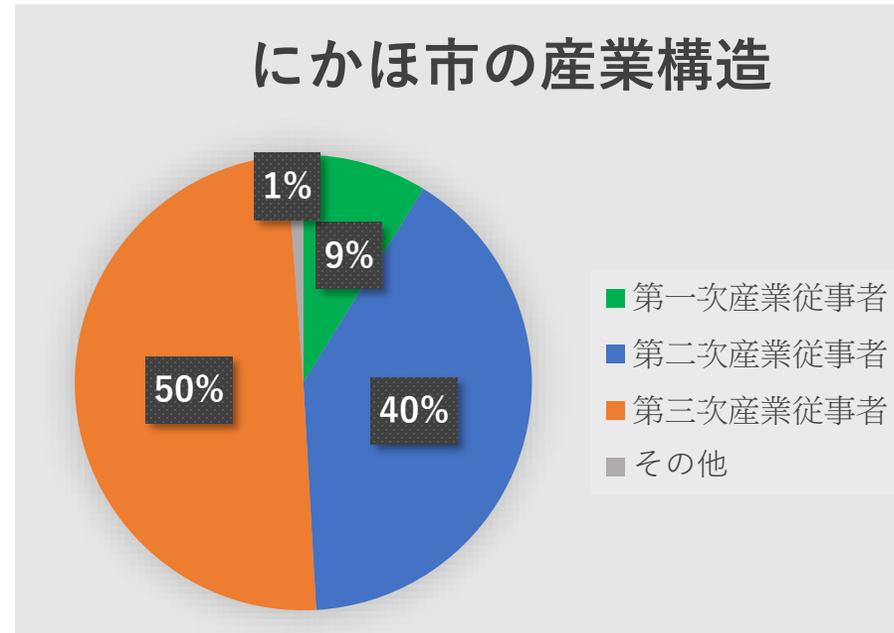


にかほ市



■ 地域の概要

- ・ 沿革……平成17年10月1日 市制施行（仁賀保町、金浦町、象潟町）
- ・ 人口……22,614人（令和5年9月30日時点）
- ・ 総面積……24,113ha
- ・ 森林面積……15,058ha（62%）
- ・ 農地面積……3,690ha（15%）
- ・ 水稻作付面積……1,820ha（8%）



■ 地域の概要

▶ TDK株式会社とにかほ市

- ・ 創業者 齋藤憲三（1898年－1970年）
- ・ 旧仁賀保町出身（早稲田大学商学部卒）
- ・ 1935年 東京電気化学工業株式会社（現TDK株式会社）設立
- ・ 1942年 衆議院議員に当選
- ・ 1944年 秋田県平沢町長に当選
- ・ 1953年 再び衆議院議員に当選
- ・ 1956年 科学技術庁政務次官に就任



■ 地域の概要

▶ 天然記念物（国）

「鳥海山獅子ヶ鼻湿原植物群落及び
新山溶岩流末端崖と湧水群」



鳥海マリモ



元滝伏流水



あがりこ大王

■ 地域の概要

▶ 天然記念物（国）



「象潟（通称：九十九島）」

松尾芭蕉

■ 地域の概要

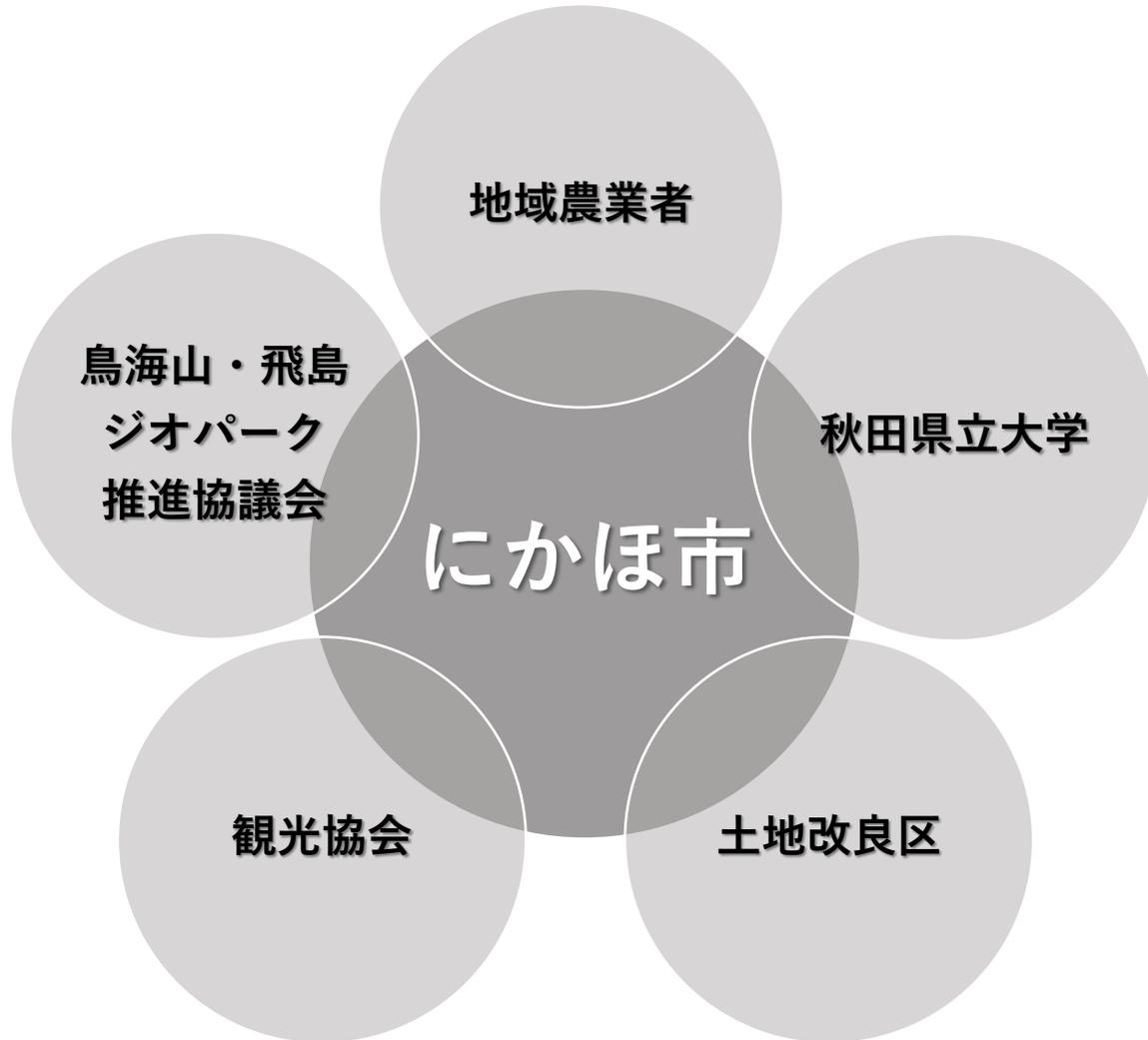
▶ 生物多様性の観点から重要度の高い湿地（略称：重要湿地）



「仁賀保高原湖沼群」 （冬師湿原）

■ 取組方針

▶ 里地環境の向上及びトキ環境保全に対する理解の醸成




「トキとの共生を目指す里地」に選定されました

「宝の里」にかほ
 心算のきっかけは、秋田県立大学生物資源科学部の近藤准教授からの「にかほ市は、佐渡島の自然環境と似ていて、トキの里地の条件に合致する」との助言です。トキが生息するためには、河川、湿地、水田、農業用水路などの採餌場、農ぐらとなる杉林や松林などが必要であり、本市にはその環境が整っています。世界シャオバークを目指す本地球には、九十九島元滝伏流水、三崎海岸など、多くのジオサイトや観光スポットがありますが、私たちが普段何気なく暮らす「まち」そのものが、そのまま世界に誇れる自然環境です。

今年8月、環境省は「トキとの共生を目指す里地」として、本市を選定しました。これは、鳥インフルエンザなどによる地域リスクを避け、佐渡島以外にもトキの里地を作ろうと環境省が公募したものです。過去に生息実績のある自治体を対象とした放鳥候補地2地域と飛来して生息できる里地として本市を含む3地域が選定されました。

「トキとの共生を目指す」に市民の理解を共に
 具体的な取り組みはこれからです。森林整備、環境に配慮した農業、海を守る活動、そして、日常生活で環境に配慮すること、これら全てが「トキとの共生」につながります。まずは市民の皆さんとともに、本市の恵まれた環境を再認識し、それぞれができることに取り組み、「宝の里」を次世代につぎます。「トキとの共生」は、本市の豊かな自然の象徴でもあり、環境と生物多様性に配慮したまちづくりを進める。本市の意思表明でもあるのです。

鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会

秋田県立大学

土地改良区

観光協会

にかほ市

トキ：古くから日本に生息したが、乱獲により激減。昭和以降は森林伐採、農業多用による水生動物の減少、山間部水田の消失などにより野生種が絶滅した。・ヘリカシ目トキ科・学名(Trogon trogon)・地域(環境省レッドリスト2019)

にかほ市の豊かな環境はトキの生息に適している(写真：横岡)

市民と自然の共生 広報 にかほ 22

■ 取組方針

▶ 生物多様性の保全への配慮

- ・ 持続可能な農業生産
- ・ 環境保全型スマート農業

■ 取組を通じて目指す地域の姿



• 環境に配慮した農業生産の拡大



• 生物多様性の保全



• 環境保全への住民意識の向上



持続可能な農業と
多様な生物が共存する
地域社会の実現

■ 取組内容

▶ これまで

- ・ 広報で特集記事を掲載
- ・ 秋田県立大学への調査研究委託
- ・ 小学生との田んぼの生き物調査

▶ これから

- ・ 市民向け環境保全フォーラム（令和5年12月9日）
- ・ 市職員研修「にかほの環境再認識」（令和6年1月）

